

2024

2 月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 234 号-①【基準日 2024 年 1 月 31 日】



🌸 社長メッセージ



上昇相場でも平常心で淡々と

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も1ヶ月が過ぎましたがいかがお過ごしでしょうか。元日に発生しました能登半島地震では、甚大な被害が発生し多くの方が被災して犠牲になられた方も少なくありませんでした。犠牲になられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。今もまだ避難生活を余儀なくされている方がたくさんいらっしゃる厳しい状況が続いておりますので、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、先月の世界の株式市場は、日本株を中心に大きく上昇する1ヶ月となりました。日本株式市場は年初から外国人投資家の買い意欲が強かったことや能登半島地震を受けて1月の日銀金融政策決定会合でのマイナス金利解除の観測が後退したことなどで円安基調となったこと等が主な株価上昇要因となり、日経平均株価は36,000円台を超えてバブル後の最高値を更新しました。一方、出遅れが目立ったのは中国株式市場で、製造業PMIの低下から景気減速懸念が高まったことが大きく下落する要因となり、政府は株価・景気安定政策を打ち出しましたが、中長期的な不透明感は払拭されずに株価は低迷したまま月末を迎えました。為替相場は、昨年末の1ドル141円台から147円前後まで大きく円安に振れる1ヶ月となりました。そのような中で、ありがとうファンドは月間で5.1%の上昇となり基準価額、純資産額ともに最高値を更新しました。

今後の見通しですが、今年の世界経済は、欧米各国の利上げが一段落する中で、米国の今後の景気動向や利下げ見通しに一喜一憂する相場展開が考えられます。また、今年是世界各国で選挙が行われる選挙イヤーであり、選挙結果が政治経済に与える影響に注意が必要です。特に11月に行われる米国の大統領選挙では、共和党のトランプ前大統領と民主党のバイデン大統領の再選になる可能性が高まっており、もしトランプ前大統領が勝利したらどうなるかという『もしトラ』シナリオが話題になり始めています。選挙結果次第では、長期化するウクライナ情勢や混迷する中東情勢、米中対立などの地政学リスクにも大きな影響を与える可能性があり、不確実性が増して、マーケットのボラティリティが一段と高まるかもしれません。一方、日本国内においては、日銀の金融緩和政策が変更されてマイナス金利がいつ解除されるのかに注目が集まっていますが、能登半島地震の影響もあって慎重な意見も出て来ており当初想定よりも後ずれする可能性も出て来ています。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上昇相場でも平常心で淡々と資産運用を継続しよう

今年は、年初から能登半島地震や航空機の衝突事故が発生する大変な年明けになった一方で、日本株式市場は大きく上昇して始まりました。

新NISA制度もスタートして資産運用や投資に注目が集まっている中での大きな上昇相場に浮足立ってしまっている方も少なくないのではないのでしょうか？

短期間で急に上昇すると、欲張らずに早めに利益確定をしようという心理は人間としては誰でも思う自然な感情です。行動経済学においても人は誰でも利益は早めに確定しようとする傾向があることが示されています。

特に使う予定はないけれど上昇したからという理由で利益確定を繰り返していると長期的に資産形成をしていくのは難しいと思われま

す。大切なことは上がっても下がっても将来の目標に向かって平常心で淡々と資産運用を継続していくことです。

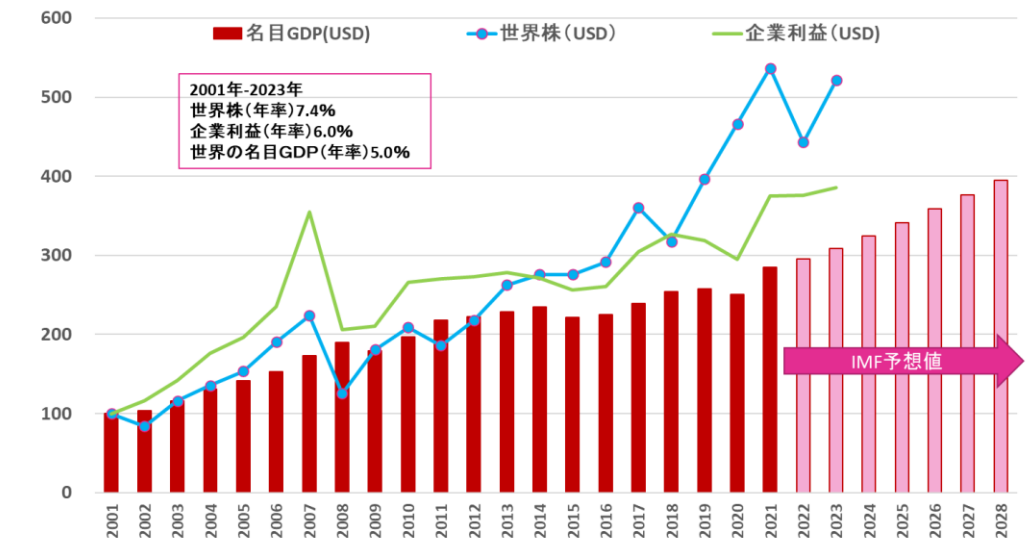
右図のように株価は長期でみれば世界経済の成長や企業利益の成長の恩恵を受けながら上下しながらも長期的に大きく上昇してきたのがお分かりいただけると思います。

今年は世界各国で主要な選挙が行われますので、想定外のことが起こればマーケットが一時的に動揺して上下に大きく乱高下することも十分に考えられます。その度に一喜一憂して資産運用を止めてしまっていては将来の資産形成も長期的な運用成果を得ることもできなくなってしまうでしょう。相場が激しく上下動するような局面では、当初の運用計画・運用方針通りに投資を継続することが資産運用ではとても大切です。

今後もありがとうファンドは、ボラティリティの高い不安定な相場環境でも短期的な相場変動に惑わされることなく、お客さまから託された資金を長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を長期で享受できるように、幅広い国や地域のクオリティの高い企業に厳選投資しているファンドに国際分散投資をするとともに、戦争などの有事やリスクオフ局面で相対的に価値向上が期待できる金(ゴールド)にも投資することでリスクを抑えながら安定した運用成果の提供を目指して運用を行って参ります。

弊社はこれからも長期で信頼して資産運用を任せられるパートナーとしてお客さまの資産運用を一生涯サポートして参りますので、ありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます

指数化



出所: ファクトセット、IMF 2001年を100として指数化



積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	28,343円	+13.3%
3年	26,753円	+20.0%
5年	22,954円	+39.9%
10年	18,811円	+70.7%
初回(2004年10月)から	12,948円	+148.0%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万5981円
3年	36万円	43万2176円
5年	60万円	83万9504円
10年	120万円	204万8867円
初回(2004年10月)から	232万円	575万4576円

2024年1月31日現在(基準価額:32,117円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月11日 (日)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月12日 (月)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
2024年新春企画セミナー 『今年の世界経済見通し/新投資先ファンド紹介』	2月25日 (日)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。
変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

ご家族・ご友人

39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

3/9
START!

今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。



被災したときに受けられる支援制度や お金に関すること

令和6年能登半島地震により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

地震や大雨、台風など自然災害が増加する近年、「なにかあった場合」に備えて情報や知識を得ておくことがとても重要になってきます。万が一被災してしまったら、生活を再建していくうえで必要になってくるのはお金です。今回は被災時の支援制度や損害保険についてまとめました。

被災したときに受けられる公的支援制度

地震や風水害など災害に見舞われることの多い日本では、地震などの自然災害に被災した際に生活再建を補助する支援金や、一部税金の控除・減免などの制度が用意されています。

私たちが利用できる公的な支援制度をいくつか紹介しますので、制度のポイントおさえておきましょう。

◆まずは「罹災証明書」を取得する

罹災証明書とは、水害や地震、火災などの災害によってどのくらいの被害を受けたかを公的に証明する書類のことです。自治体に申請すると、被害状況の調査が行われ、証明書が発行されます。支援金や義援金、税金の免除など様々な被災者支援を受ける際に必要となります。

詳しくはこちら <https://www.bousai.go.jp/taisaku/unyou.html>



◆被災者生活再建支援制度

自然災害(暴風・豪雨・豪雪・洪水・高潮・地震・津波・噴火など)により住宅が全壊や半壊などの大きな損害を受けた世帯に、支援金を支給して生活の再建を支援する制度です。

全ての自然災害や被災世帯が対象となるものではなく、被害の大きさが法律で決められており、制度の対象となった地域は、公的な市区町村のHPなどで確認することができます。

支援金には、基礎支援金と加算支援金の2種類があり、その合計金額が受け取れます。

基礎支援金は、全壊などで100万円、大規模半壊で50万円と住宅の被害程度に応じて支給されます。加算支援金は住宅の再建方法に応じて、新たに住宅を建築・購入する場合は200万円、補修する場合は100万円、賃貸住宅に住む場合は50万円が支給されます。ただし、いずれも独身世帯は、支給額が4分の3になります。

詳しくはこちら <https://www.bousai.go.jp/taisaku/seikatsusaiken/shiensya.html>

◆住宅の応急修理

住宅が半壊や大規模半壊などの被害を受け、修理をすれば住める場合に、自治体が必要最低限の修理費用を負担してくれる制度です。屋根や床、壁、窓、台所・トイレなど日常生活に必要な最小限度の部分が対象で、応急的な修理を自治体が行う(自治体が業者に依頼し、修理費用を自治体が直接業者に支払う)という支援で、被災された方に費用が支給されるものではありません。

詳しくはこちら https://www.bousai.go.jp/taisaku/pdf/sumai/sumai_6.pdf

さらに高額なお金が必要となってしまった場合は、「災害援護資金」や「災害復興住宅融資」などの融資制度を利用するのも選択肢のひとつです。

また、被災時には「雑損控除」や「災害減免法」などの制度により所得税の控除、減免を受けられる可能性があります。その他、公的年金、保険料、公共料金などについても、免除・減免・猶予を受けることができる場合がありますので、詳細はそれぞれの所管元にてご確認ください。

公的な支援制度に関しては、自分から申請して手続きを進めないと、支援が受けられないものがほとんどです。利用できる支援制度があれば積極的に活用できるように事前に確認しておきましょう。

「災害援護資金」 https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/dl/shikingaiyou.pdf

「災害復興住宅融資」 <https://www.jhf.go.jp/loan/yushi/info/saigai.html>

「雑損控除」 <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1110.htm>

「災害減免法」 <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1902.htm>

災害の損害保険について

住宅を購入したり、賃貸住宅を契約したりするときに加入する火災保険ですが、「補償対象は“火災”だけ」と勘違いしている人も少なくありません。火災保険は、建物や家財に掛ける保険で、火災だけでなく、破裂・爆発・落雷などの被害も対象となります。最近はそれに加えて水災・風災・雪災・雹災による被害も対象とする「総合型」の保険もあります。火災保険は住まいを守るための保険として多くの自然災害に備えることができます。

ただし、地震や噴火またはこれらによる津波によって受けた損害は火災保険では補償されません。そこで、地震に対する補償は地震保険に加入する必要があります。地震保険は単独で加入することができないため、必ず火災保険とセットで加入する保険となっています。

また、火災保険は契約の保険金額を限度として、実際の損害額が保険金として支払われる実損払いになっているのに対し、地震保険は実際の損害額が支払われる訳ではなく、設定した保険金額と建物等の損害の程度によって支払われる金額が変わってきます。つまり、全壊しても建て直せるだけの保険金額は下りないので、注意が必要です。地震保険は、あくまでも被災した人々の生活を再建させるための一時的な住居費や生活費と考えておくべきです。

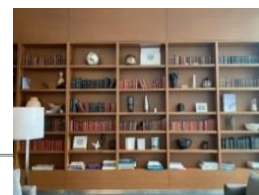
なお、契約内容によって保険金が支払われない場合があります。詳細は契約している保険会社にお問い合わせください。

大規模災害にあってしまった場合、精神的影響や身体の被害に加えて、多大な経済的負担が生じると考えられます。その場合に備えて貯蓄しておく、保険に加入しておくなど自ら備えることが重要ですが、利用できる支援制度があれば積極的に活用できるように防災知識として頭に入れておくこと安心ですね。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

世界の今を読み解く「政治思想マトリックス」 単行本 - 2020/11/28 茂木 誠 (著)

今年は世界各国で選挙が行われる選挙イヤーで、選挙結果にマーケットも一喜一憂する展開が想定されています。今月ご紹介するおすすめの本は、選挙イヤーにぴったりの一冊になります。

著者は世界史のカリスマ講師として有名な茂木誠先生で、世界各国の政治思想について歴史的経緯とともに、右か左かの1次元座標ではなくて、2次元座標のマトリックスで整理してシンプルにわかりやすく解説してくれています。

米国におけるトランプ現象やウクライナに侵攻するプーチンの思想まで分断する世界の今を読み解く上で必要な知識を学ぶことができます。

日本では一般的に政治の話題は避ける傾向があり、選挙の投票率の低さを見れば国民の政治への関心の低さも納得できます。もはや民主主義と言えるのかというレベルにまで下がっているのが現状ではないでしょうか。

国会では自民党が裏金問題から派閥を解消する流れになっていますが、そもそも派閥がなぜ生まれたのか派閥の役割は何かなども本書を読めば理解できます。

日本は少子高齢化で人口減少社会に突入した課題先進国ではありますが、世界の政治動向と無関係ではられません。私達一人ひとりがもう少し政治に関心をもって、これからこの国をどうしていくのか真剣に考えなければならない時期にいよいよ来ているのではないかと思います。学校の授業では教えてくれない世界の政治の今について、本書を読んで改めて勉強して考えてみてはいかがでしょうか？



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落日座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落日を中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2024年 2月分	1月4日(木)	1月25日(木)	2月6日(火)	2月15日(木)	2月19日(月)
2024年 3月分	2月5日(月)	2月22日(木)	3月6日(水)	3月14日(木)	3月18日(月)
2024年 4月分	3月5日(火)	3月27日(水)	4月8日(月)	4月16日(火)	4月18日(木)
2024年 5月分	4月4日(木)	4月22日(月)	5月7日(火)	5月15日(水)	5月17日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

2月5日(月)	聖ブリジッドの日	アイルランド	2月19日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク
3月18日(月)	聖パトリックの日	アイルランド	3月29日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク・ルクセンブルグ・ロンドン

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

< 免責事項 | Disclaimer >

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中での「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今年の世界経済見通し 新投資先ファンド紹介

2024年新春セミナーを1月より全国で開催いたします！

2024年新春企画セミナーとして、今年の世界経済見通しとありがとうファンドの新たな投資先ファンドとなったアリアンツ・グローバル・インベスターズの米国大型バリュー株ファンドの運用哲学や特長、魅力について詳しくご説明させていただきます。

是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2024年1月21日（日）10:00～12:00

ありがとう投信本社3F

福岡

2024年1月28日（日）13:30～15:30

アクロス福岡 604

仙台

2024年2月4日（日）13:30～15:30

仙都会館 7F-C

大阪

2024年2月11日（日）13:30～15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室 2

名古屋

2024年2月12日（月）13:30～15:30

ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 会議室 1206

札幌

2024年2月25日（日）13:30～15:30

かでる 2. 7(北海道立道民活動振興センター)510 会議室



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL: <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール: 0800-888-3900

